

エコ事業所取組レポート（2011年度版 2011年3月～2012年2月）

事業者名及び代表者名

太陽電化工業株式会社

代表取締役社長 伊藤 豪

愛知県名古屋市瑞穂区河岸一丁目5番1号

環境管理責任者

常務取締役 伊藤 卓

連絡先 052-821-1161

事業内容

電気めっき業

事業規模

売上 4億8,500万円（2007年度）

従業員 45名（2013年 1月31日現在）

工場延べ床面積 2794㎡



当社はめっき業の生産活動を行う際に、有害な薬品を使用し、その取扱によっては大気汚染、水質汚濁、土壌汚染などを引き起こす可能性があり、環境との共生、調和が大変重要な課題と認識し生産活動における環境負荷を継続して削減を図る為、全社一丸となって環境保全活動に取り組みます。

<環境保全への行動指針>

1. 具体的に次のことに取り組みます。

- ① 電力・燃料の効率化を図り、それに伴う二酸化炭素排出量を削減する
- ② 水の削減に努める
- ③ 廃棄物の3R（減量、再使用、再生利用）を推進する
- ④ 生産ラインの工程を見直し、化学物質やVOC物質の使用量を削減する
- ⑤ グリーン購入を推進する
- ⑥ 排水について、自主管理値を設定し公害防止に努める

これらについて、環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

2. 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。

3. 地域住民の皆様との環境コミュニケーションに積極的に取り組みます。

4. 環境への取り組みを環境活動レポートとしてとりまとめ、公表します。

制定 2008年 1月 6日

改定 2011年 3月 1日

太陽電化工業株式会社

代表取締役社長 伊藤 豪

主な環境負荷の実績（2008年度～2011年度）

項目	内容	2008年度 (08年3月～09年2月)	2009年度 (09年3月～10年2月)	2010年度 (10年3月～11年2月)	2011年度 (11年3月～12年2月)
総エネルギー投入量	購入電力(MJ/年)	7,891,150	8,246,947	8,581,167	8,022,135
	化石燃料(MJ/年)	7,087,726	7,249,616	7,526,511	7,311,779
総物質投入量	PRTR対象物質(t/年)	23.93	22.37	28.26	26.42
	脱脂材(t/年)	20.07	18.49	20.95	19.87
水資源投入量	上水(m ³ /年)	28,961	25,367	29,402	29,439
温室効果ガス排出量	二酸化炭素(Kg-CO ₂)	793,694	771,795	801,761	764,586
化学物質排出量	大気への排出量(t/年)	1.0	1.2	1.1	1.5
一般廃棄物排出量 (※再生利用は汚泥のリサイクル) (※単純焼却は可燃ごみ)	再生利用(t/年)	1.39	1.48	1.94	2.03
	単純焼却(t/年)	3.84	3.21	2.9	4.06
	最終処分量(t/年)	0.25	0.16	0.13	0.17
産業廃棄物排出量 (中間処理)	廃トリクレン(t/年)	0.13	0.1	1.38	0.1
	廃酸(t/年)	11.94	6.73	13.51	13.79
	廃アルカリ(t/年)	70.88	48.42	38.38	46.21
	有害産業廃棄物(t/年)	0	1.38	2.98	0.71
総排水量	下水道(m ³ /年)	28,961	23,567	29,402	29,439
	BOD(Kg/年)	2,896	3,535	5,880	5,888
総製品生産量	売上(円/年) (外注加工費除く)	447,525,505	472,606,274	536,246,247	485,678,222

★電力の二酸化炭素排出量の削減

基準値	目標値	実績値	主な取組み内容
912,702KWh	848,813KWh	816,087KWh	節電運動の展開
763Kg-CO ₂ (2007年度)	710Kg-CO ₂ (△7%)	790Kg-CO ₂ (2011年度)	設備稼働の効率化

取組み結果
(基準値比較)

実績値 **10.6%削減**
売上比 **3.53%増加**

目標達成
目標未達成

※CO₂排出量は売上比(百万円)
※購入電力の排出係数
0.470Kg-CO₂/KWh
(中部電力2007年度)

取組み内容

- 休憩時間の消灯の徹底
- 設備稼働の稼働適正化
- エアコンの設定温度の適正化
- 換気扇・排風機の作動時間適正化
- 排風機のインバーター化



評価と次年度の取組み内容

震災の影響で売り上げが落ち込み、売り上げあたりの評価では達成することができていない。現状の対策を続け、効果があるかを確認したい。
また電力の見える化も検討して行きたい。

★ボイラー燃料の二酸化炭素排出量の削減

基準値	目標値	実績値	主な取組み内容
168,078Nm ³ 750Kg-CO ₂ (2009年度)	164,716Nm ³ 735Kg-CO ₂ (△2%)	169,045Nm ³ 734Kg-CO ₂ (2011年度)	めっき温度の見直し 損失の軽減

取組み結果 (基準値比較) 実績値 **0.57%増加** **目標未達成** ※CO₂排出量は売上比 (百万円)
 売上比 **2.23%削減** **目標達成**

取組み内容

- めっき液温度の見直し (脱脂液温度の最適化)
- ボイラー配管の断熱化
- ボイラー稼働時間の適正化



評価と次年度の取組み内容

仕事量の変動によって総使用量が増えてしまっている。
 もっと無駄を省いていく対策を取る必要がある。
 省エネルギーセンターの分析に基づく対策を再度確認する必要がある。

★節水

基準値	目標値	実績値	主な取組み内容
37,409m ³	34,042m ³	29,577m ³	節水運動
66.7m ³	60.7m ³	60.9m ³	節水コマの設置
(2007年度)	(△9%)	(2011年度)	

取組み結果
(基準値比較)

実績値 **21.0%削減**
売上比 **8.70%削減**

目標達成
目標未達成

※2段目は売上比(百万円)

取組み内容

- 節水運動
- 水漏れの修繕
- 流水電磁弁の修繕



評価と次年度の取組み内容

震災の影響で売り上げが落ち込み、売り上げあたりの評価では達成することができていない。現状の対策を続け、効果があるかを確認したい。
水の純度による流水システムの導入も検討したいが、費用対効果が疑問である。

★化学物質の削減（PRTR対象物質）

基準値	目標値	実績値	主な取り組み内容
28,398Kg	27,546Kg	26,425Kg	不良の撲滅
53.0Kg (2010年度)	51.4Kg (△3%)	54.4Kg (2011年度)	液の更新頻度の検討

取り組み結果（基準値比較）
 実績値 6.95%減少 目標達成
 売上比 2.64%増加 目標未達成

※2段目は売上比（百万円）

取り組み内容

- 汲み出し量の削減
- 不良の撲滅
- 液の再生利用の検討



評価と次年度の取り組み内容

震災の影響で売り上げが落ち込み、売り上げあたりの評価では悪化している。実際には削減できているので、更新ルールや無駄な更新を控えることができている。現状の取り組みを続ける。